

第 18 回 中小企業景況調査 (平成 20 年 7 月 9 月)

《調査結果の要約》

中小企業の業況は、悪化しています。

- ・全業種の業況判断 DI は、マイナス幅が拡大しました。(14.4 28.4)
- ・業種別にみると、以下のとおりです。
 - 3 カ月前から好転 : 小売業 (買回品)
 - 3 カ月前より悪化 : 製造業、建設業、小売業 (最寄品)、飲食業、サービス業

1. 全業種の業況判断 DI は、 28.4 (3 カ月前と比べ 14.0 ポイント) となり、4 期連続してマイナス幅が拡大しています。
2. 設備投資件数は、25 件 (3 カ月前と比べ+8 件) となりました。1 年前の 29 件との比較では 4 件減少しました。
3. 経営上の問題点 (回答社数に対する比率) は、 需要の停滞 : 55% (3 カ月前と比べ +9 ポイント) (74 社) 人件費以外の経費の増加 : 28% (3 カ月前と比べ 2 ポイント) (38 社) 販売単価の低下・上昇難 : 20% (3 カ月前と比べ +5 ポイント) (27 社) の順です。

トピックス

- ・国内全産業の業況判断 DI は、 35.9 (3 カ月前と比べ 3.4 ポイント) となり、10 期連続してマイナス幅が拡大しています。
- ・神奈川県全産業の業況判断 DI は、 46.8 (3 カ月前と比べ 6.5 ポイント) となり、マイナス幅が拡大しています。業種別では、商業・サービス業、製造業、建設業すべてでマイナス幅が拡大しています。

* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成20年10月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	15	14	21	28	30	26	134
回答率	100.0%	93.3%	91.3%	93.3%	81.1%	86.7%	89.3%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目

- (1). DIの状況について
自社の業況 売上額 資金繰り 採算 従業員数
- (2). 設備投資について
- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index(デフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。
各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3カ月の見通しを対比したものです。
 - ・四半期；1年の4分の1、すなわち「3カ月間」
 - ・前期比；3カ月前との比較
 - ・前年同期比；1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%の場合、次のような計算になります。

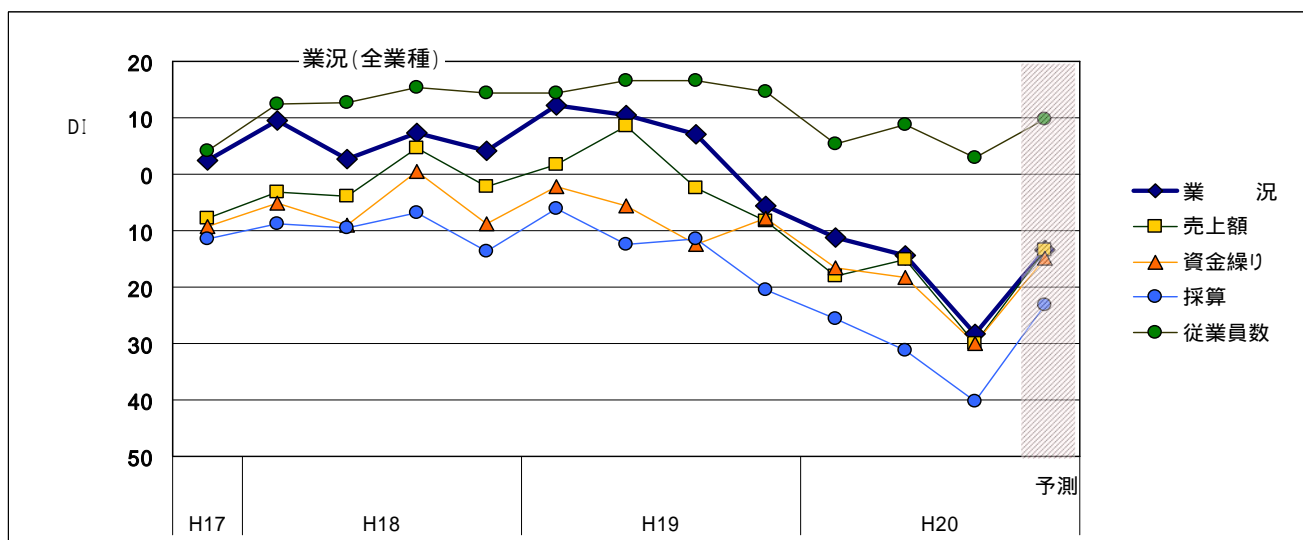
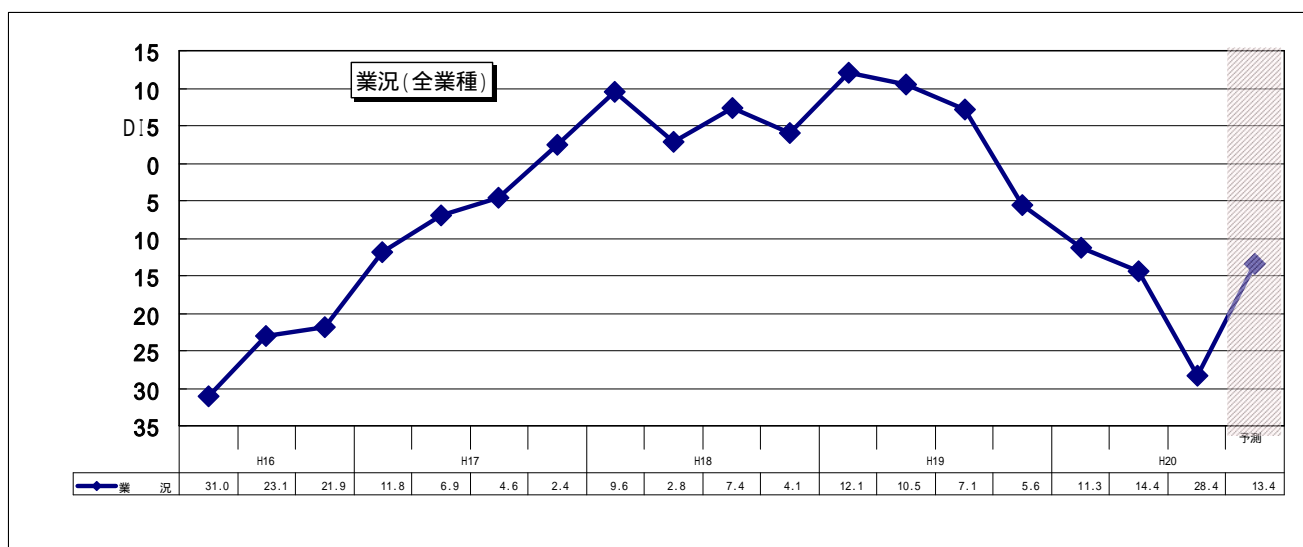
$$DI = 50 - 30 = 20$$

《調査結果》

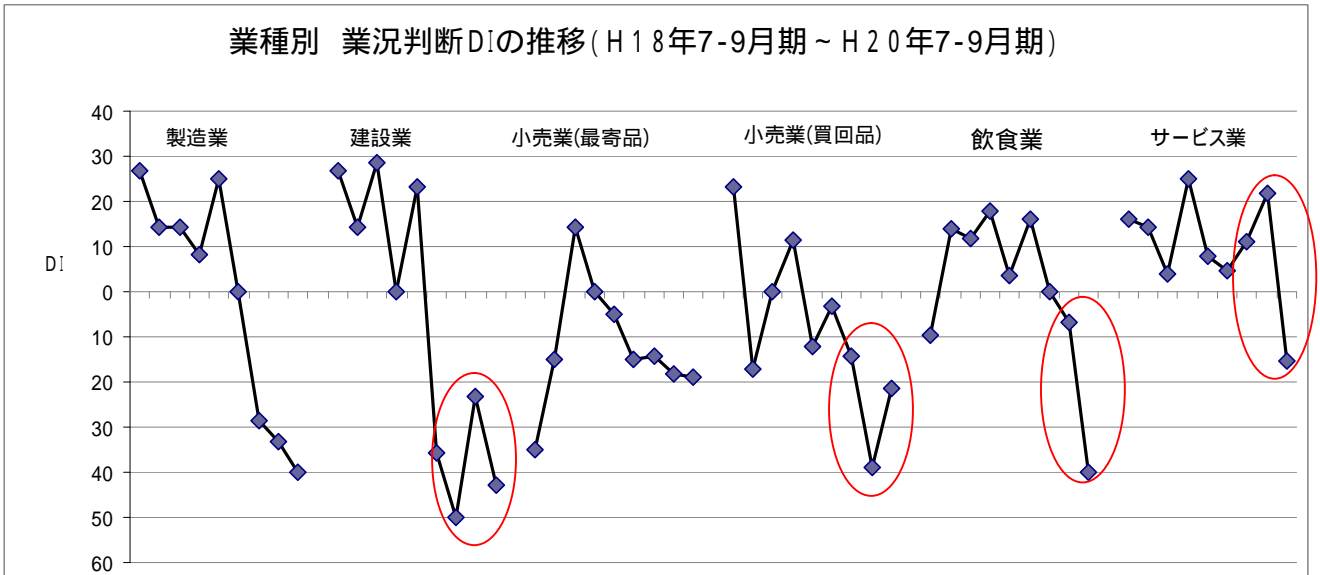
・全業種

業況 DI

- ・全業種の業況判断 DI は 28.4 (前期比 14.0 ポイント) と 4 期連続してマイナス幅が拡大しています。3 カ月先は 13.4 でマイナス幅が縮小の見通しです。
 - ・売上 DI は 29.9 (前期比 14.7 ポイント) とマイナス幅が拡大しました。3 カ月先は 13.4 でマイナス幅が縮小の見通しです。
 - ・資金繰り DI は 29.9 (前期比 11.5 ポイント) と 8 期連続してマイナス水準で推移しています。3 カ月先は 14.9 でマイナス幅が縮小の見通しです。
 - ・採算 DI は 40.3 (前期比 9.1 ポイント) となり、18 期連続してマイナス水準で推移しています。3 カ月先は 23.1 でマイナス幅が縮小の見通しです。
 - ・従業員数 DI は +3.0 (前期比 5.8 ポイント) となり、人手不足感が緩和しています。
- ・業種別の業況判断 DI は、建設業と飲食業が大幅に悪化しています。唯一プラス水準であったサービス業もマイナスに転じました。小売業(買回品)はマイナス幅が縮小しています。



業種別 業況判断DIの推移 (H18年7-9月期 ~ H20年7-9月期)



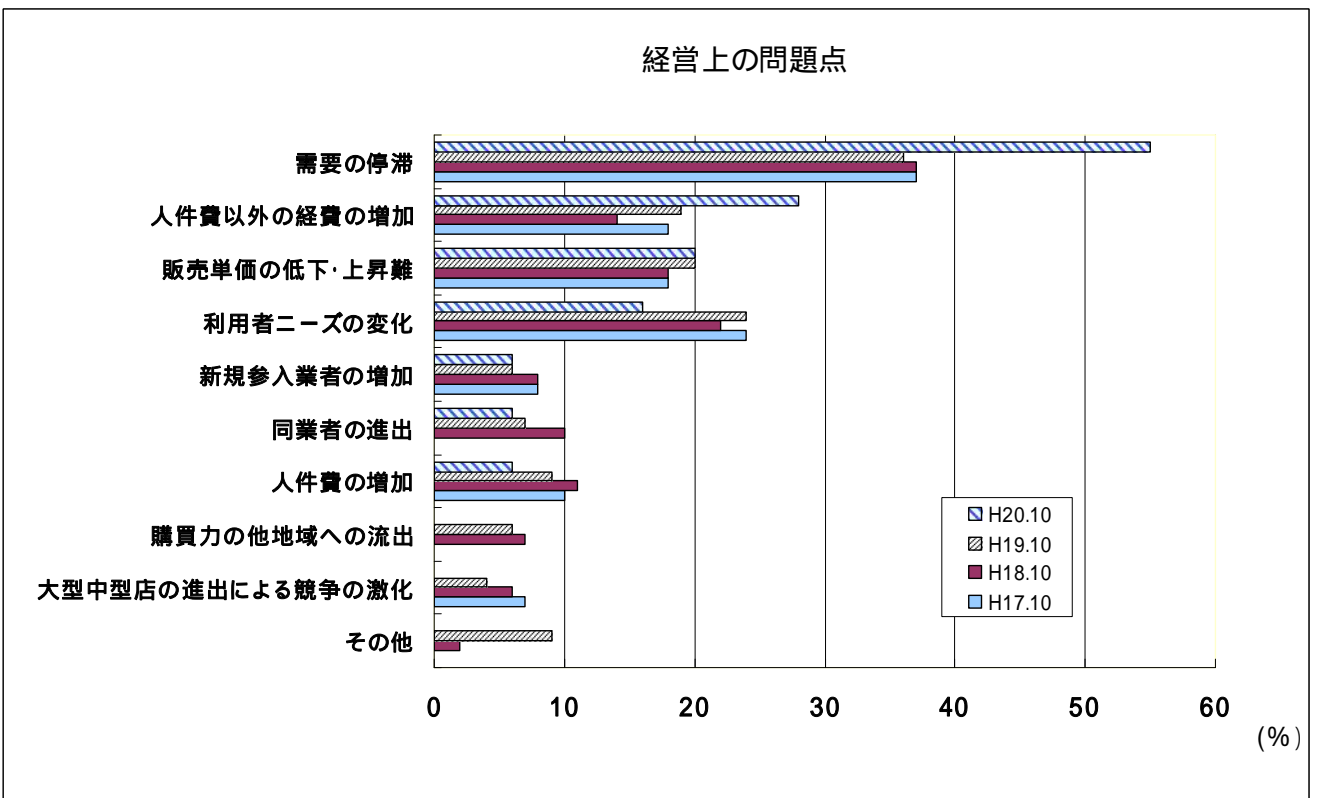
設備投資の動向

- 設備投資件数は、25件(3カ月前と比べ+8件)となりました。1年前の29件との比較では4件減少しました。内訳の上位は、機械設備8件、OA機器6件、建物等5件です。

経営上の問題点

- 経営上の問題点は、 需要の停滞：55% (74社) 人件費以外の経費の増加：28% (38社) 販売単価の低下・上昇難：20% ((27社) の順です。

経営上の問題点

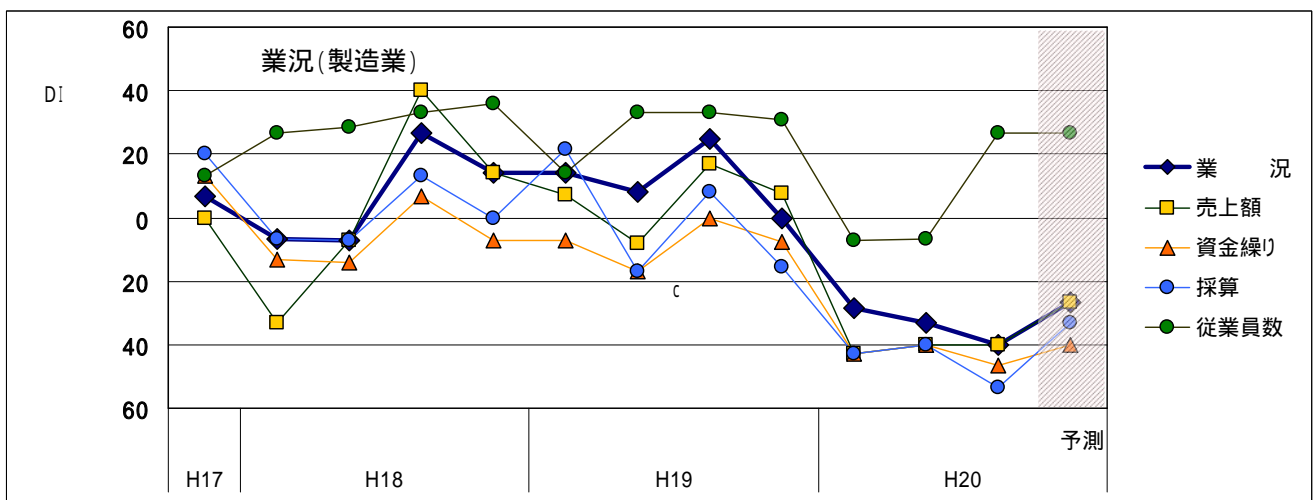


業種別

1. 製造業

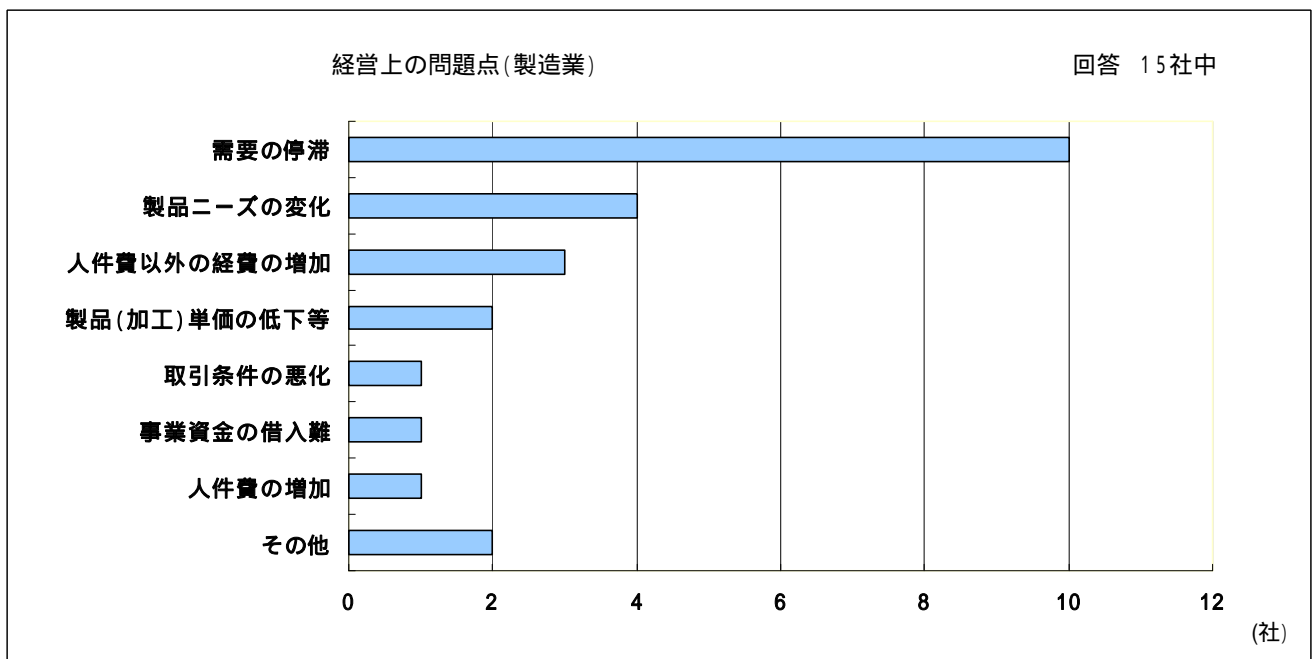
業況 DI

- ・業況判断 DI は 40.0 (前期比 6.7 ポイント) とマイナス幅が拡大しましたが、3 ヶ月先は 26.7 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・売上 DI は 40.0 (前期比 ±0 ポイント) と横ばいで、3 ヶ月先は 26.7 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・資金繰り DI は 46.7 (前期比 6.7 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 40.0 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・採算 DI は 53.5 (前期比 13.5 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 33.3 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・従業員数 DI は +26.7 (前期比 +33.4 ポイント) とプラスに転じ、人手不足感があります。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件と低迷しています。

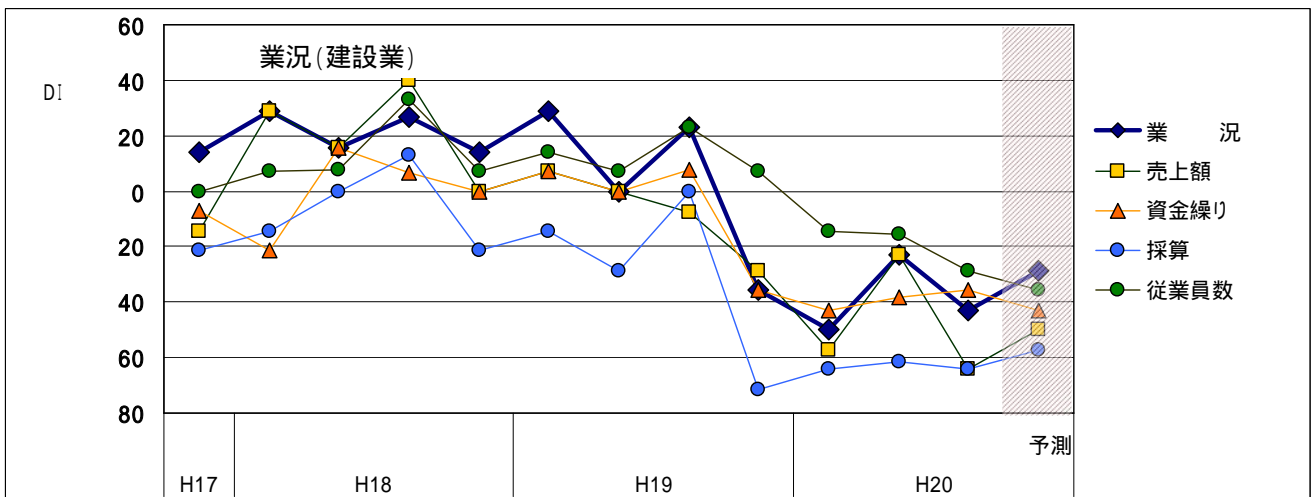
経営上の問題点



2. 建設業

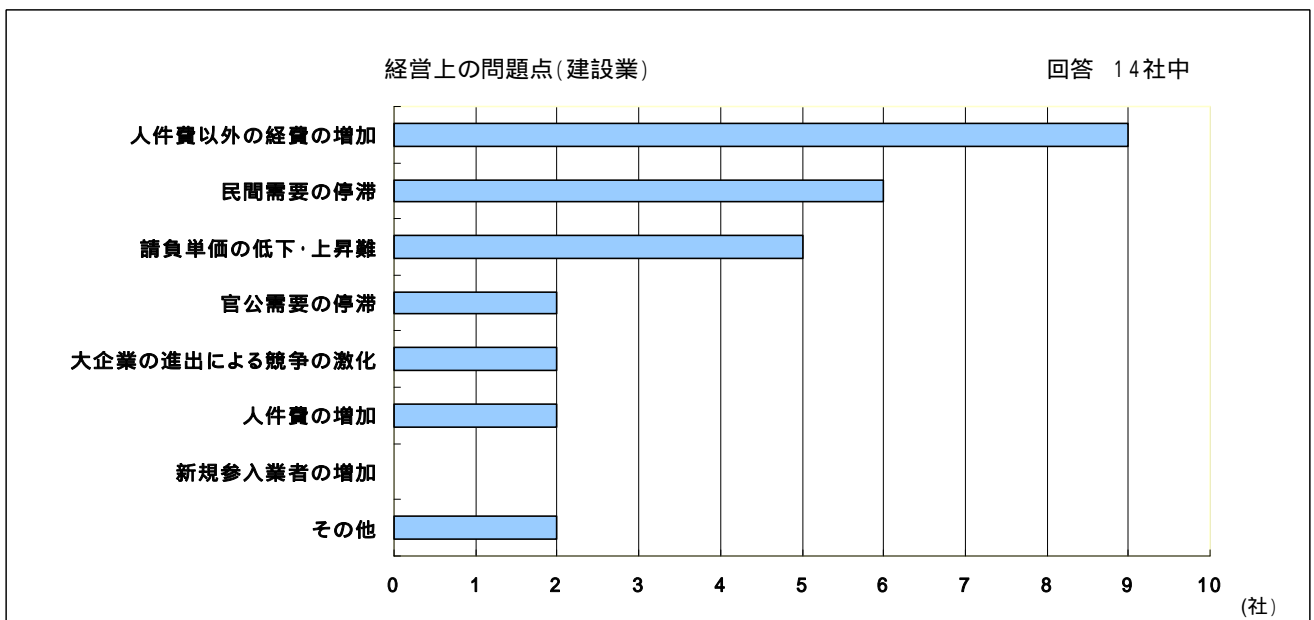
業況 DI

- ・業況判断 DI は 42.9 (前期比 19.8 ポイント) と大幅にマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 28.6 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・売上 DI は 64.3 (前期比 41.2 ポイント) と大幅にマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 50.0 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・資金繰り DI は 35.7 (前期比 +2.8 ポイント) とややマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 42.9 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・採算 DI は 64.3 (前期比 2.8 ポイント) と、ここ 4 期極めて低いマイナス水準で推移しており、3 ヶ月先は 57.1 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・従業員数 DI は 28.6 (前期比 13.2 ポイント) とマイナス幅が拡大し、過剰感が強まっています。



設備投資の動向 設備投資件数は、機械設備、車両運搬具、建物各 1 件です。

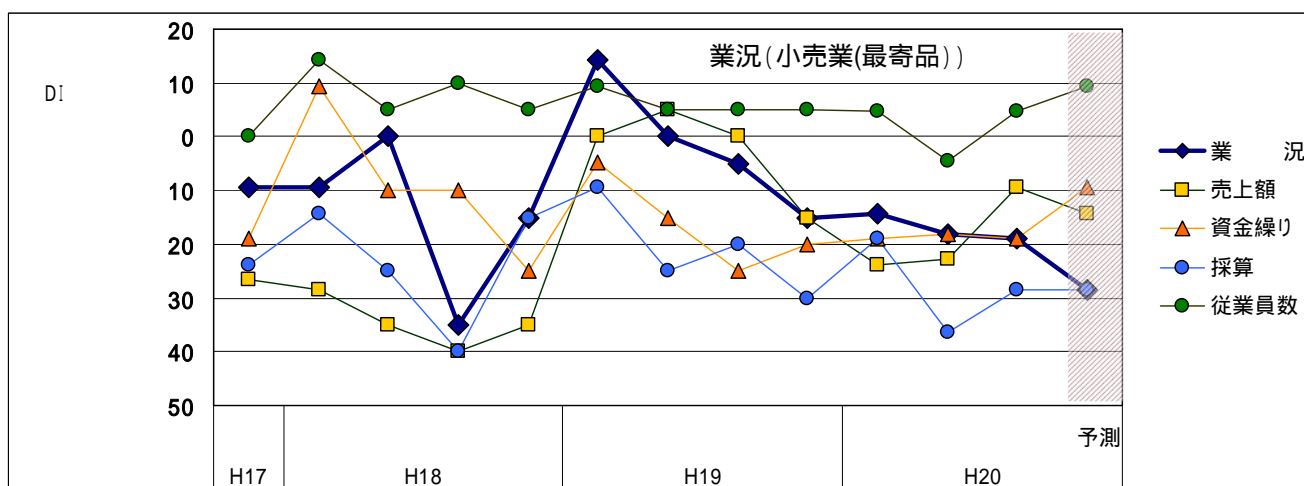
経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

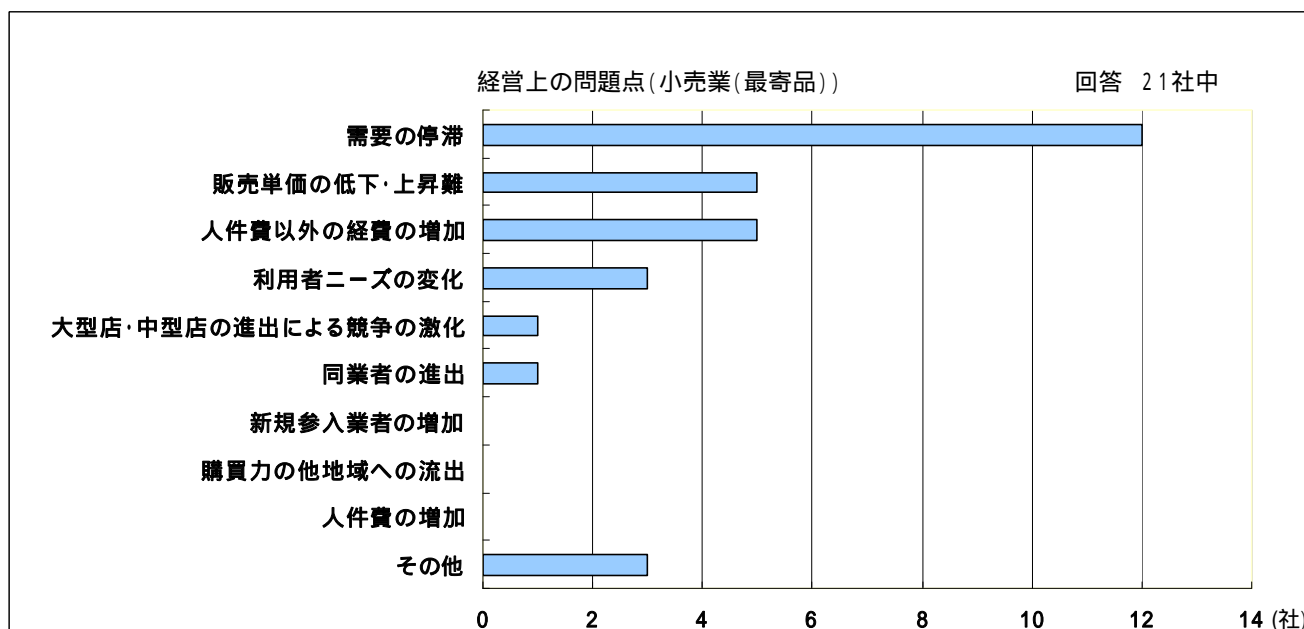
業況 DI

- ・業況判断 DI は 19.0（前期比 0.8 ポイント）と横ばいで、3 カ月先は 28.6 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・売上 DI は 9.5（前期比 +13.2 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 14.3 とマイナス幅が拡大の見通しです。
- ・資金繰り DI は 19.0（前期比 0.8 ポイント）と横ばいで、3 カ月先は 9.5 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・採算 DI は 28.6（前期比 +7.8 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 28.6 と横ばいの見通しです。
- ・従業員 DI は、+4.8（前期比 +9.3 ポイント）と不足に転じ、3 カ月先も +9.5 と引続き不足の見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は、機械設備 3 件など計 6 件とほぼ横ばいです。

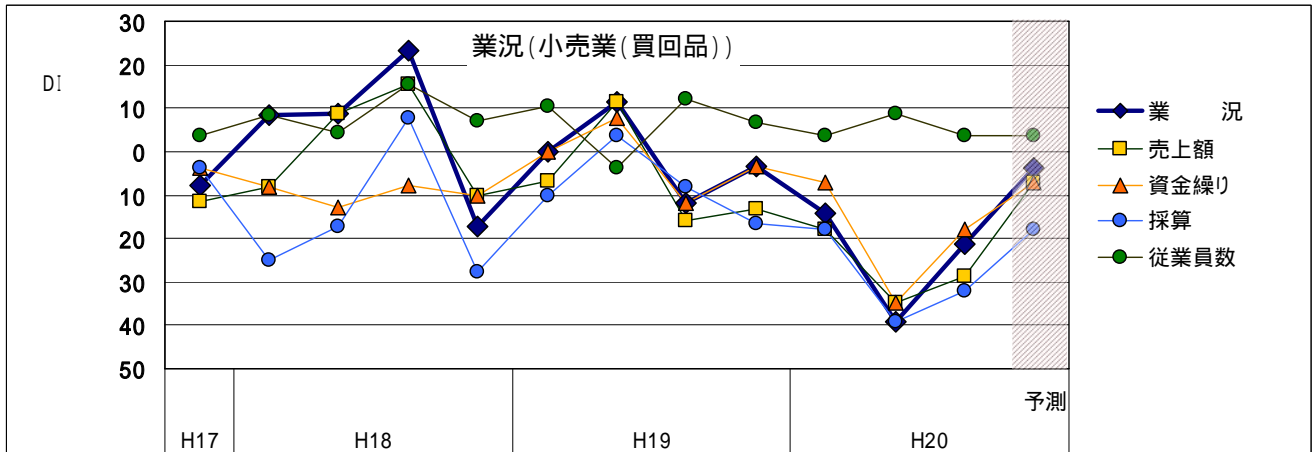
経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

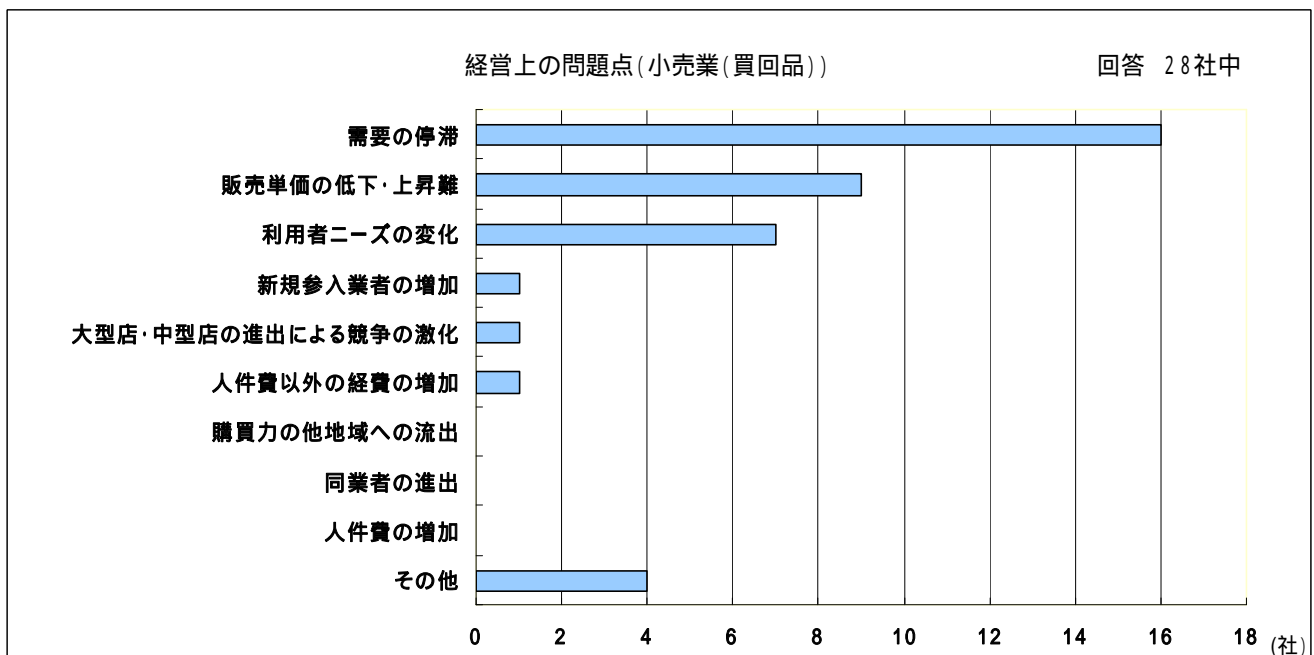
業況 DI

- ・業況判断 DI は 21.4（前期比+17.7ポイント）とマイナス幅が縮小し、3ヵ月先は 3.6 とさらにマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・売上 DI は 28.6（前期比+6.2ポイント）とマイナス幅が縮小し、3ヵ月先は 7.1 とさらにマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・資金繰り DI は 17.9（前期比+16.9ポイント）とマイナス幅が縮小し、3ヵ月先は 7.1 とさらにマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・採算 DI は 32.1（前期比+7.0ポイント）とマイナス幅が縮小し、3ヵ月先は 17.9 とさらにマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・従業員数 DI は+3.6（前期比 5.1ポイント）となり、人手不足感が緩和されています。



設備投資の動向 設備投資件数は、OA 機器 1 件と低迷しています。

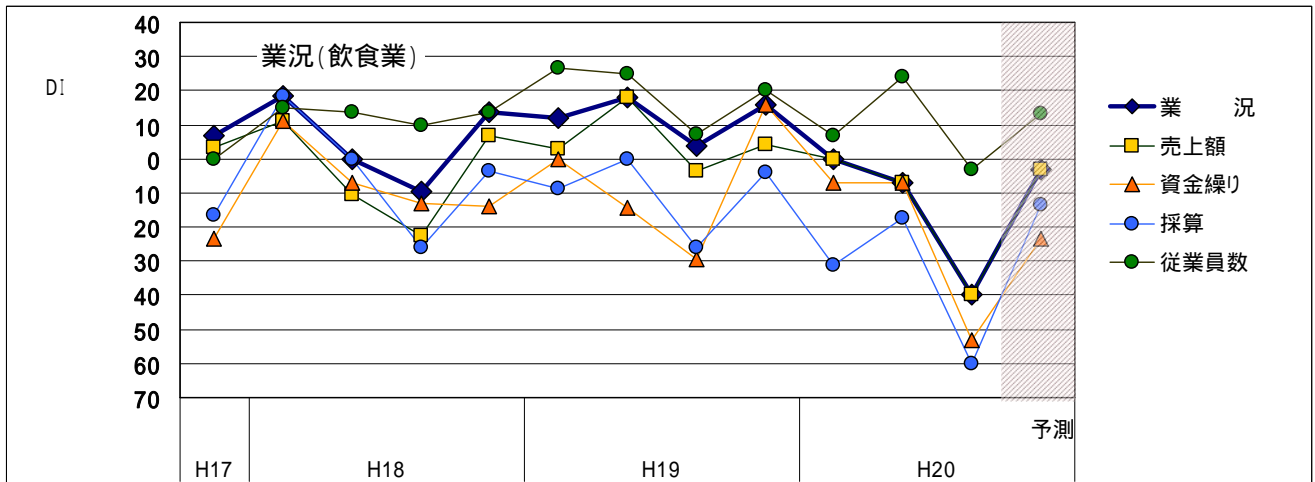
経営上の問題点



5. 飲食業

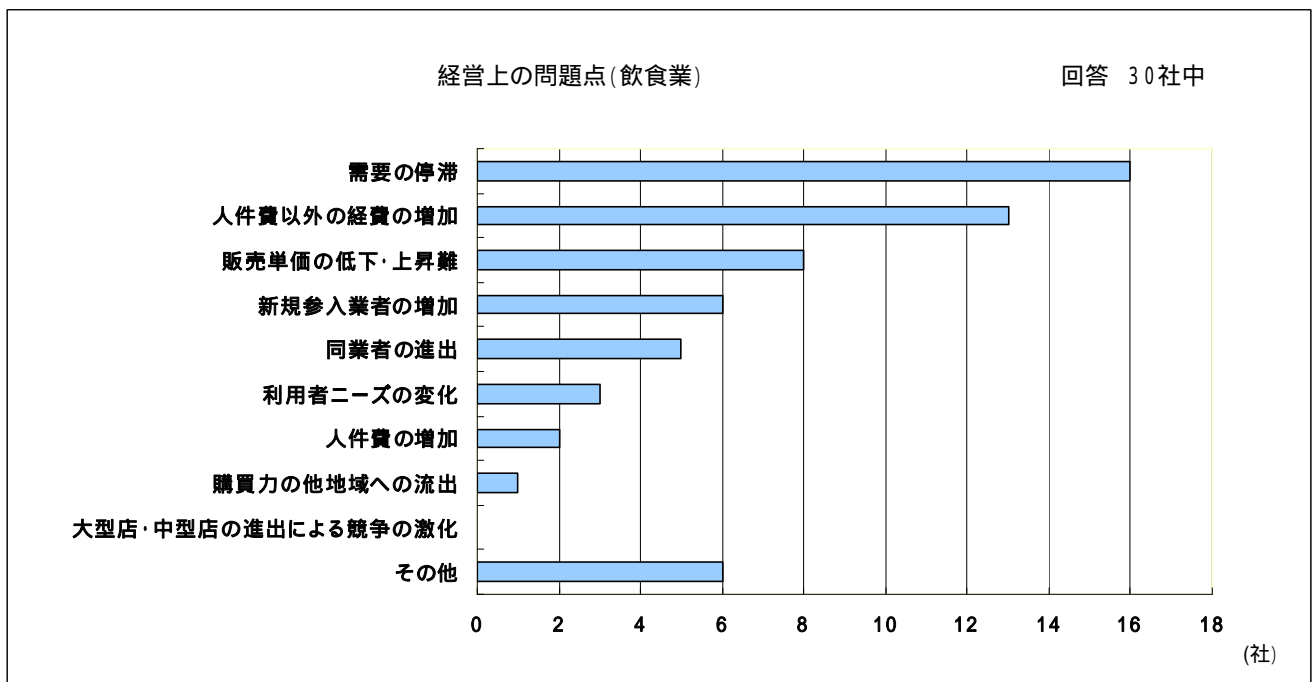
業況 DI

- ・業況判断 DI は 40.0(前期比 33.1 ポイント)と大幅にマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は 3.3 と大幅にマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・売上 DI は 40.0(前期比 33.1 ポイント)と大幅にマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は 3.3 と大幅にマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・資金繰り DI は 53.3(前期比 46.4 ポイント)と大幅にマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は 23.3 と大幅にマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・採算 DI は 60.0(前期比 42.8 ポイント)と大幅にマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は 13.3 と大幅にマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・従業員数 DI は 3.3(前期比 27.4 ポイント)となり、過剰に転じています。



設備投資の動向 設備投資件数は、機械設備 3 件、建物等 2 件など 7 件と増加しました。

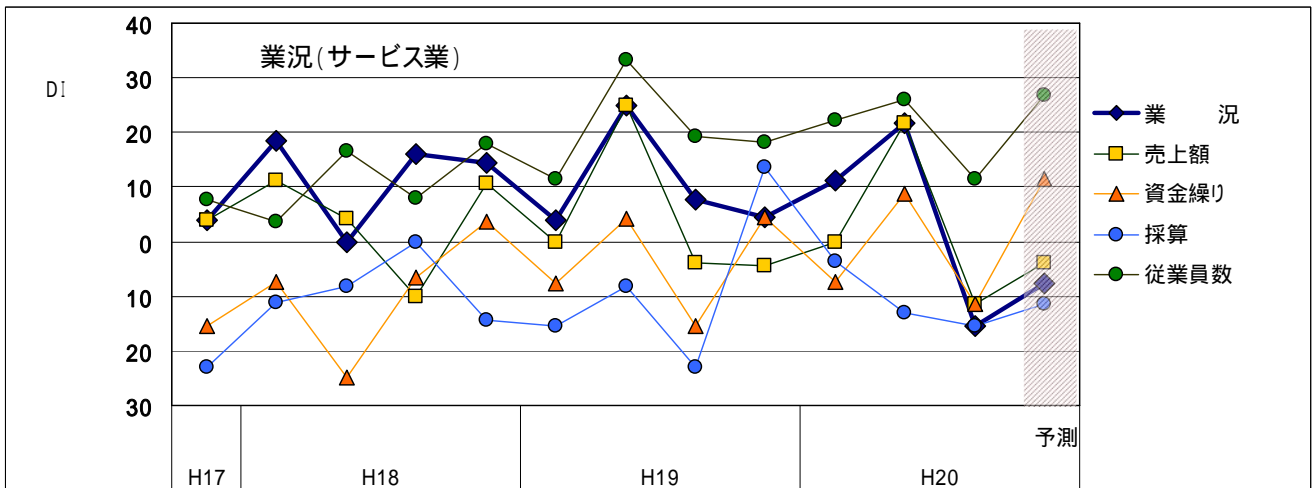
経営上の問題点



6. サービス業

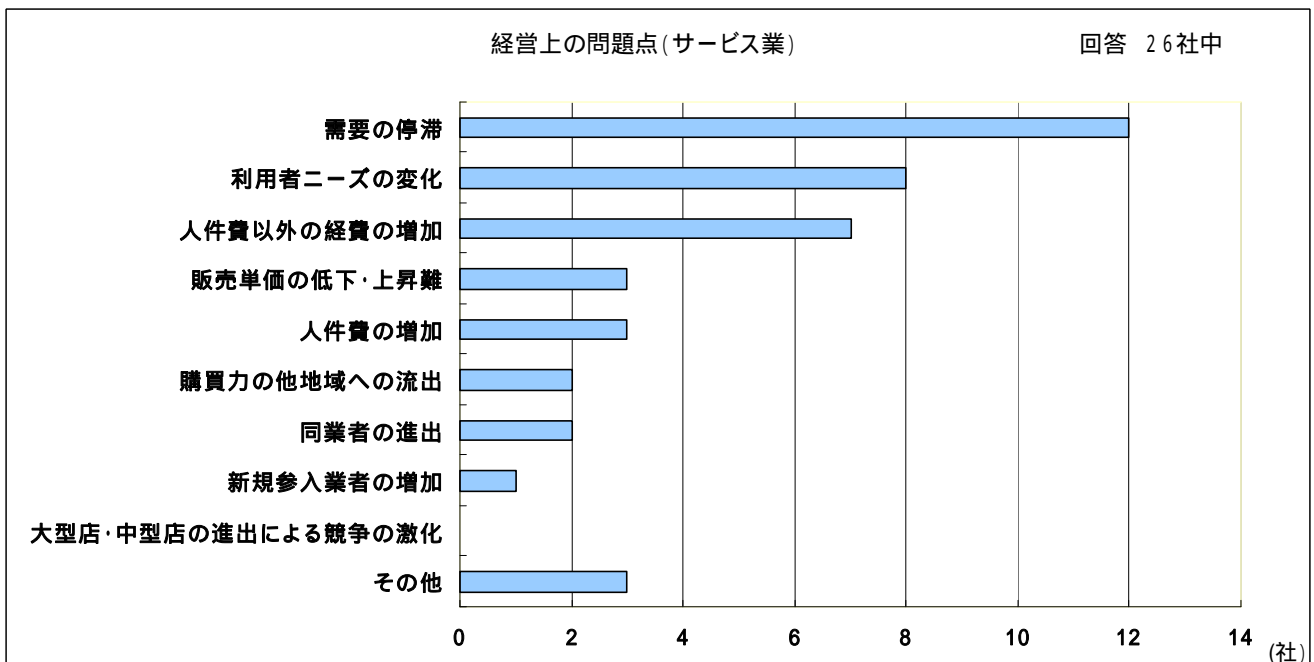
業況 DI

- ・業況判断 DI は 15.4 (前期比 37.1 ポイント) とマイナス水準に転じ、3 カ月先は 7.7 とマイナス幅が縮小する見通しです。
- ・売上 DI は 11.5 (前期比 33.2 ポイント) とマイナス水準に転じ、3 カ月先は 3.8 とマイナス幅が縮小する見通しです。
- ・資金繰り DI は 11.5 (前期比 20.2 ポイント) と再度マイナス水準に転じ、3 カ月先は +11.5 とプラス水準に転じる見通しです。
- ・採算 DI は 15.4 (前期比 2.4 ポイント) とややマイナス幅が拡大し、3 カ月先は 11.5 とマイナス幅が縮小の見通しです。
- ・従業員数 DI は +11.5 (前期比 14.5 ポイント) となり、人手不足感が緩和されています。



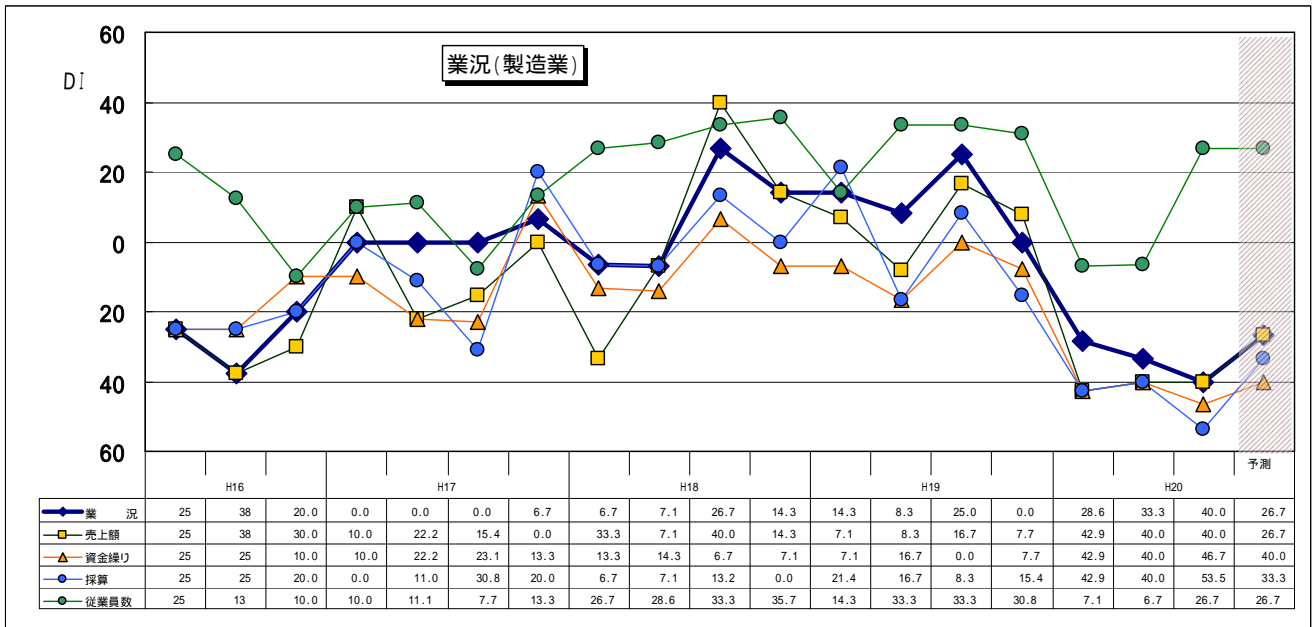
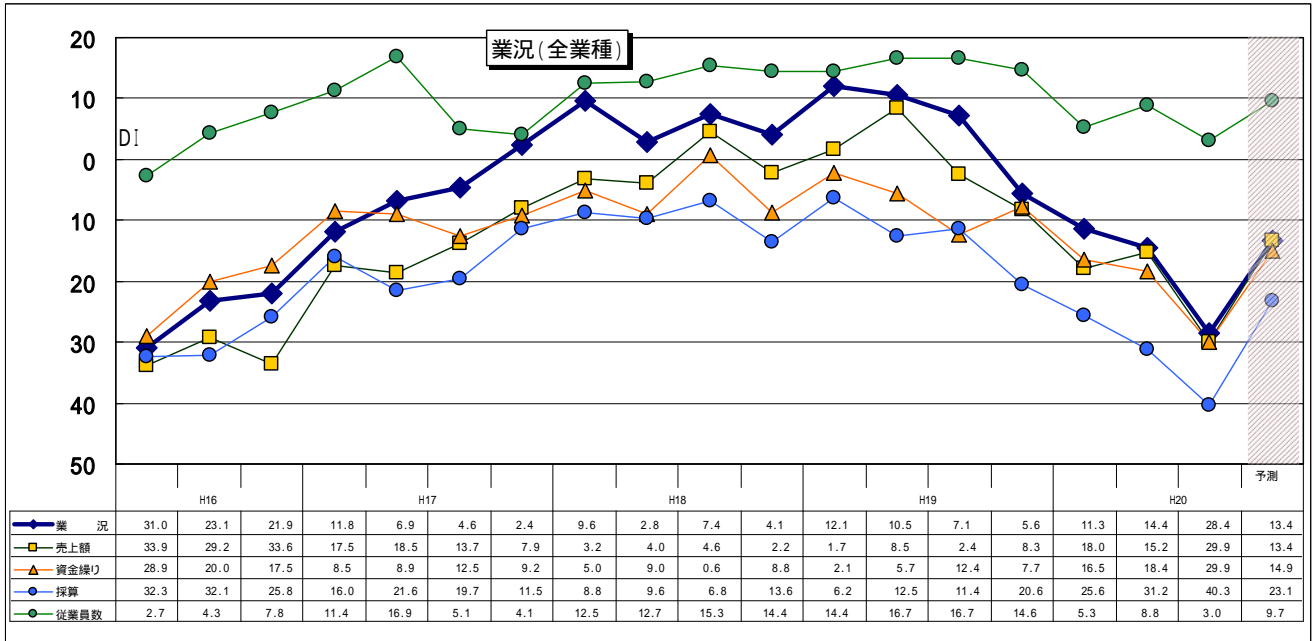
設備投資の動向 設備投資件数は、O A 機器 2 件など 6 件と増加しました。

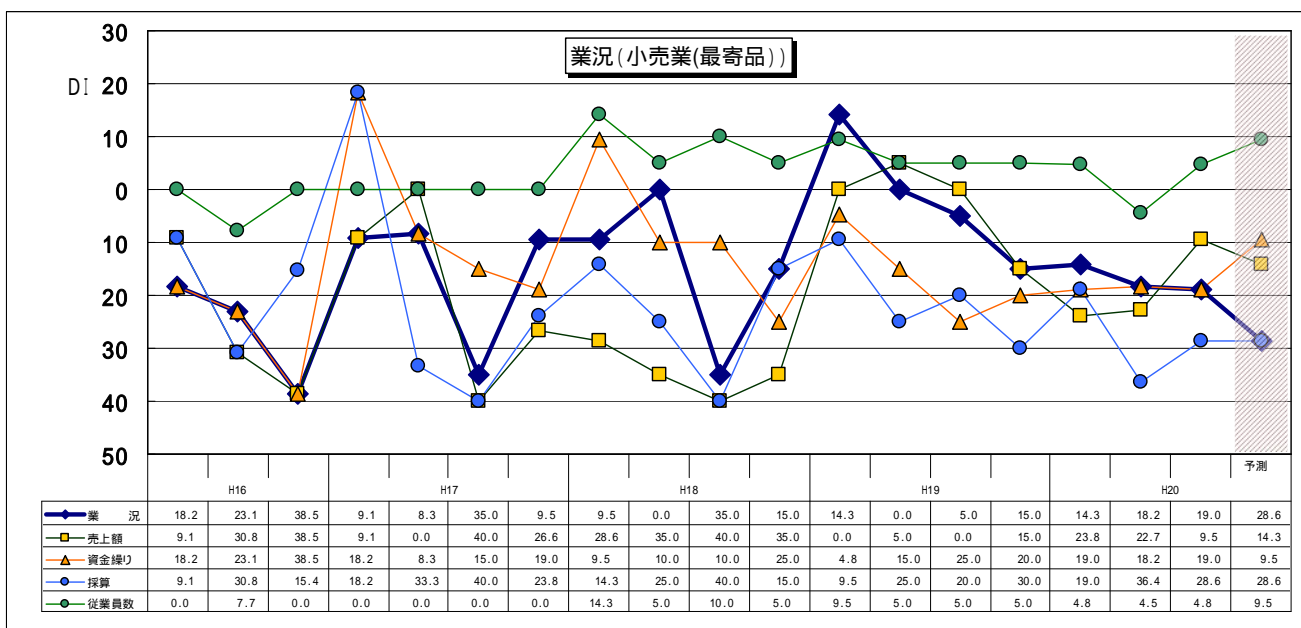
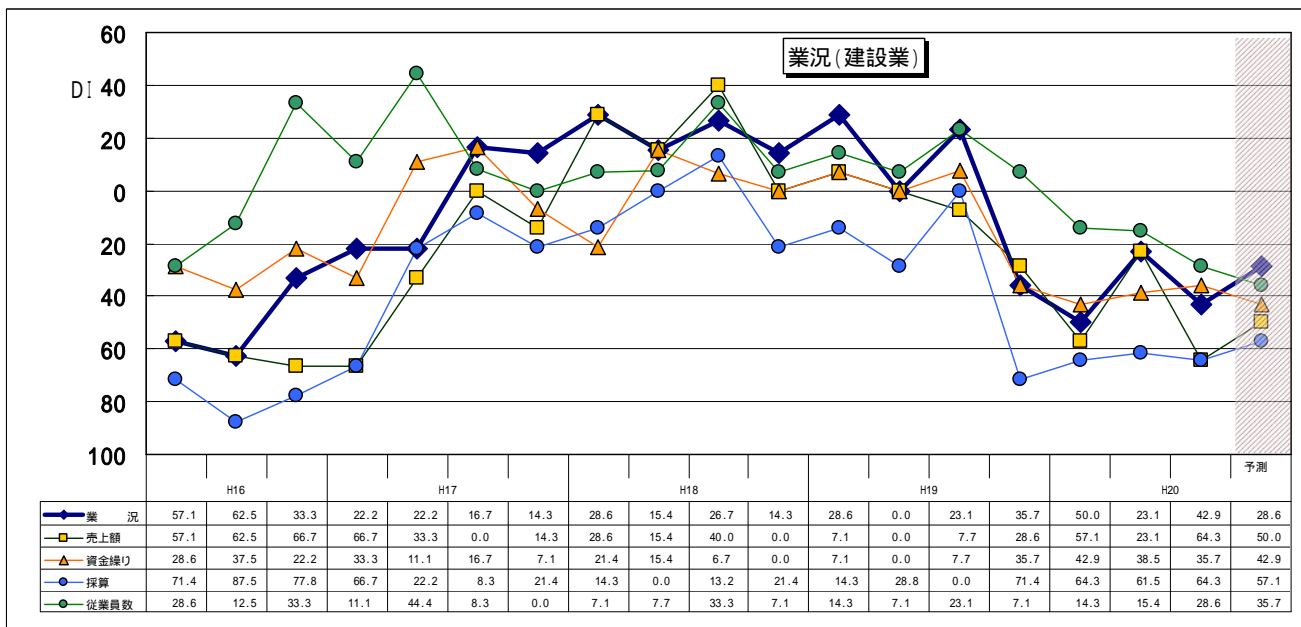
経営上の問題点

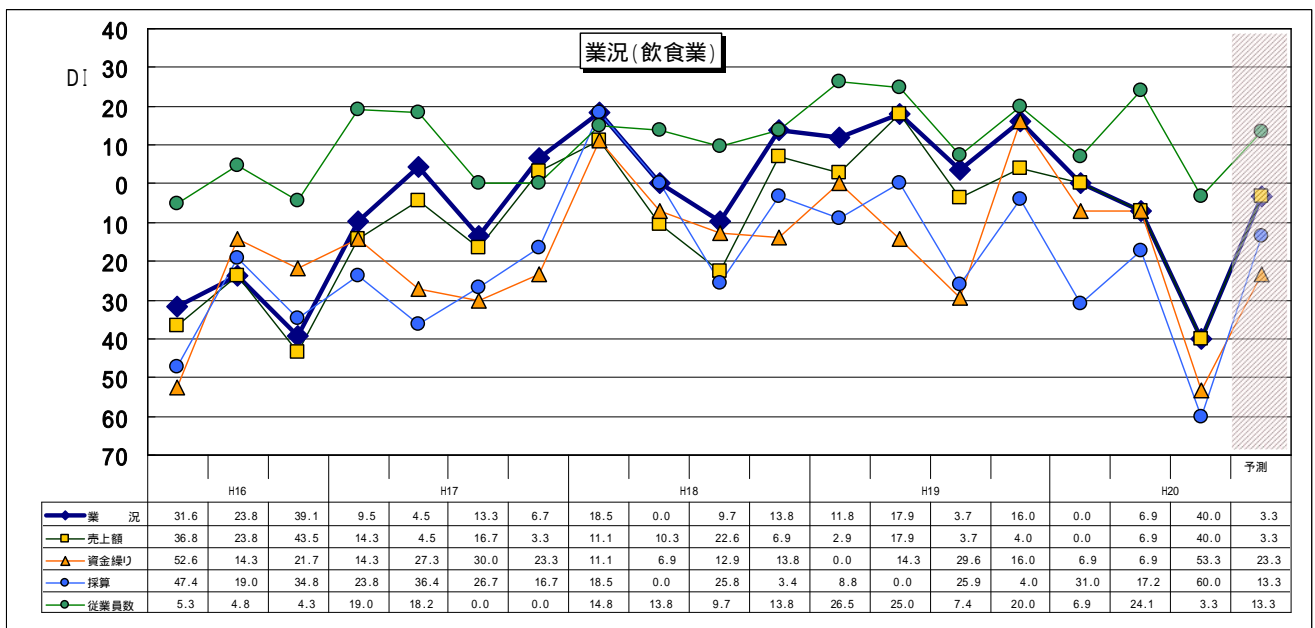
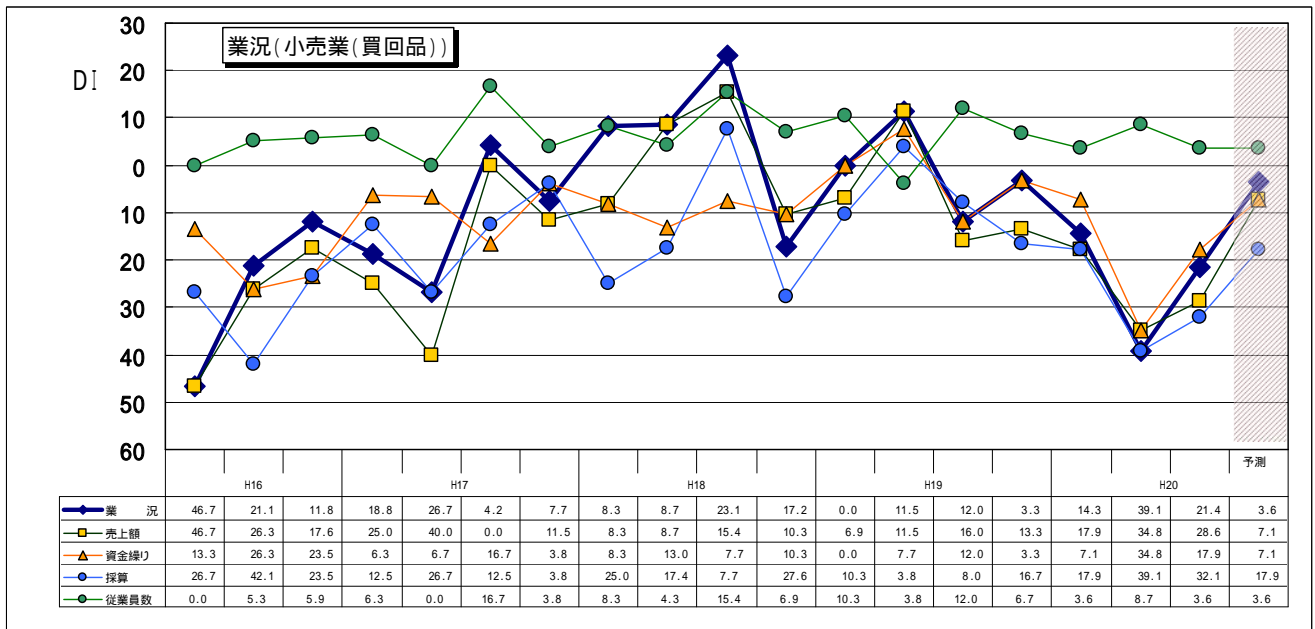


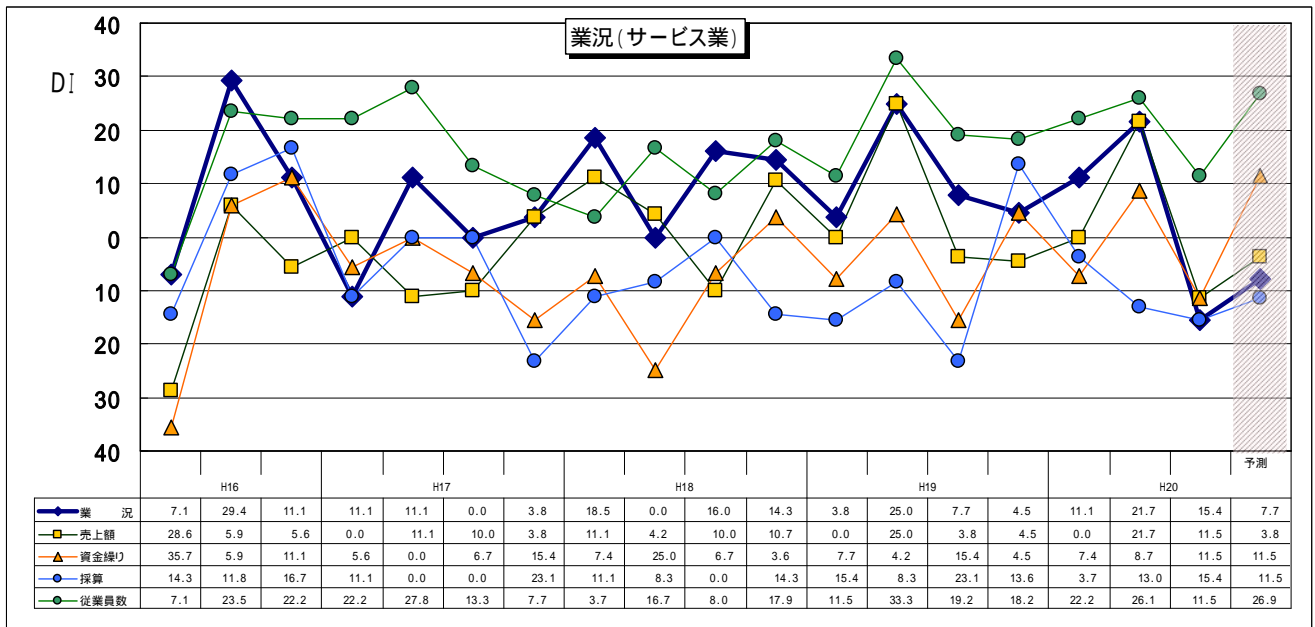
《資料》

業況









《雑談コラム》

米国発の金融危機という深刻な影響で、世界経済はさらに減速しており、日本経済の 08、09 年度の実質成長率はゼロ近辺にとどまるとの見通しです。こうした経済情勢の不透明感は、今後個人消費、企業の設備投資などの実体経済にますます大きく影響を与えることが予想されます。

今回の景況調査をみると、全国および神奈川県の中企業の業況は引続き悪化しており、鎌倉市においても全業種にわたって極めて厳しい状況が続いています。原因としては、円高、株価低迷、輸出の低迷など、事業環境は厳しい状況にさらされており、将来の景気に大きな不安を感じている企業が増えている、ということが考えられます。

しかし、こうした景気の悪い時期こそ、自社の強みをしっかりと見極め、3~5年後の中期的ビジョンを再度明確にして、社内に浸透させておくことです。また、市場の変化を十分に把握し、顧客満足度を向上させるため、地道な努力を重ねて足元を固めておくことも重要です。

さらに、中小企業支援の強化など行政による支援も得て、企業活動の活性化、異業種連携につなげていくことが必要と思われます。

設備投資

全業種	H16			H17				H18				H19				H20				子測	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ
OA機器	9	7	7	7	8	6	12	10	7	15	11	2	13	7	12	6	5	6	6	6	6
機械設備	2	3	3	2	7	11	11	8	5	9	10	3	10	8	11	9	5	8	3	3	3
車両運搬具	4	4	8	5	4	8	6	2	6	12	4	5	9	7	6	5	3	4	4	4	4
建物	1	2	0	1	2	4	4	4	5	6	9	4	3	6	4	6	3	5	1		1
付帯施設	4	2	4	3	4																
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		4	2	1	2	3	1	2	1		1

製造業	H16			H17				H18				H19				H20				子測	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ
OA機器	1	1	1	1			2	2	2	3	2		2		2	2	1	1	1	1	1
機械設備	1			1		1		1	1		2	1	1		1	2	0	0	0	1	1
車両運搬具					1	3								1		0	0	0	0	0	0
建物							1	1						1		1	0	0	0	0	0
付帯施設				1	1																
その他															1	0	0	0	0	0	0

建設業	H16			H17				H18				H19				H20				子測	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ
OA機器	2	1	2	1	1	1	3	2	1	3			2	1	1	0	0	0	0	2	2
機械設備			1					2	2				1		1	0	0	1	0	0	0
車両運搬具	1	2	3	1		3	2	1	4			1	4	2	2	2	0	1	0	0	0
建物								1	1		1	1	1	1		1	0	1	0	0	0
付帯施設				1	1																
その他												1			1	1	0	0	0	0	0

小売業 (必需品)	H16			H17				H18				H19				H20				子測	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ
OA機器	2	1			2	2		1		1	1	1	3	2	3	2	1	1	0	0	0
機械設備		1	1		1	3	1	2	1	1	1	1	3	1	2	1	1	3	1	1	1
車両運搬具						1	1	1	2	3	2	1	1	1	3	1	1	1	0	0	0
建物	1	1				1	2	1	1	2	2	1			1	0	2	1	1	1	1
付帯施設		1	1																		
その他																0	0	0	0	0	0

小売業 (買回品)	H16			H17				H18				H19				H20				子測	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ
OA機器		3	2	1	1	1	3	3	3	4	3					0	0	1	1	1	1
機械設備					1			1			1				1	1	0	0	0	0	0
車両運搬具	1	1	3	1	1					2	1	2				1	1	0	0	1	1
建物		1		1	1						1	1	2		1	1	0	0	0	0	0
付帯施設	1																				
その他													2			0	0	1	0	0	0

飲食業	H16			H17				H18				H19				H20				子測	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ
OA機器	2			1	1					3	2	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0
機械設備	1	2	1		4	6	6	2	2	4	4		4	6	5	5	4	3	1	1	1
車両運搬具	1		1	1	1		1		2	3	1	1	2	1		0	0	1	1	1	1
建物					1	1	1	1	3	4	3	1		4	2	3	1	2	0	0	0
付帯施設	3		1		2																
その他								1		1	0	3				2	0	0	0	0	0

サービス業	H16			H17				H18				H19				H20				子測	
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅳ
OA機器	2	1	2	3	3	2	4	2	1	3	3	0	4	3	5	2	3	2	2	2	2
機械設備				1	1	1	2		1	2	2	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0
車両運搬具	1	1	1	2	1	1	2			2			2	2	1	1	1	1	1	2	2
建物						2					2					0	0	1	0	0	0
付帯施設		1	2	1										1							
その他															0	1	1	1	1	1	1